

## 平成29年度第2回学校給食センター運営委員会会議録

1 日 時 平成30年1月31日(木)午後3時00分開会 午後3時55分閉会

2 出席委員 16名

南波 隆委員長

生駒 博子委員、齋藤 馨委員、大木 浩委員、石塚 貴義委員

枡倉 孝夫委員、伊藤 敏江委員、林 良臣委員、渡邊 力委員

實川 麻衣委員(代理出席者 鈴木佳代)、渡辺 美佐子委員

平山 仁一委員、田坂 透委員、武内 智美委員、林 麻耶委員

有田 光委員

3 出席職員 教育長 二村 好美

学校給食センター所長 椿 進

学校給食センター給食班統括 江波戸 淳

4 会議の要旨

(1) 開会 午後3時00分 所長、出席者過半数により会議の成立を報告

(2) 教育長挨拶

(3) 議題

①平成30年度給食実施計画(案)について

②平成29年度給食賄費執行状況について

③その他

(委員長が議事進行)

委員長 議題1の平成30年度給食実施計画(案)について事務局説明をお願いします。

事務局 (資料に基づき、平成30年度給食実施計画(案)について説明)

委員長 御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

委員長 では、御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

委員長 ないようですので、平成30年度給食実施計画(案)を御承認くださる方は、拍手をお願いします。

(拍手 全員)

委員長 委員の皆様ありがとうございます。

議題1の平成30年度給食実施計画(案)については、承認することとします。

委員長 続きまして、議題2の平成29年度給食賄費執行状況について事務局からお願いいたします。

事務局 (資料に基づき、平成29年度事業計画について説明)

委員長 御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

委員長 御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

委員長 その他、御質問等ありますでしょうか。

委員B 給食費の未納についてですが、どうしても納付できない場合は児童手当から納付するということになっていたと思います。

一般的に考えて、食べたもののお金を払わないというのはいかがなものでしょうか。その辺の動きを知りたいと思います。

事務局 平成28年度の実績では、7名の方から212,970円の給食費を児童手当から納付していただきました。平成29年度からは新たに3人の方から納付していただけることになりました。

児童手当からの納付は、保護者の方の同意が必要であります。なかなか同意をいただけないケースもあります。

委員長 その他、御意見・御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

委員長 ないようですので、平成29年度給食賄費執行状況についてご承認くださる方は、拍手をお願いします。

(拍手 全員)

委員長 委員の皆様ありがとうございます。議題2の平成29年度給食賄費執行状況については、承認することとします。

委員長 続きまして、議題3のその他について事務局からお願いいたします。

資料に基づき、学校給食残菜率、学校給食用食材放射性物質検査結果、学校給食センターの見学・試食の状況及び学校訪問の状況について説明

委員長 御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

委員長 御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

全員 「なし」

- 委員C** この場で、他市の残菜率はどのくらいか、市内各学校の残菜に対する取組みについて、把握されていれば教えていただけますでしょうか。
- 事務局** 昨年度、旭市、銚子市の残菜率について調査しましたところ、当市と同じく20%程度の残菜率でした。
- 市内各学校の取組みにつきましては、私どもで学校訪問させていただいたところでは、給食の配膳につきましては、今までは食缶から食器に盛り切らないでそのまま食缶に残ってしまったものを、すべて食器に盛り切るようにすることや、給食開始後10分間はお喋りをしない、配膳についても段取りを良くして給食を食べる時間を増やすなどの工夫に取り組んでいただいております。
- 委員C** 色々な事情があるでしょうが残菜となるのはどのような食材が多いのでしょうか。何か特徴的なことはありますか。
- 事務局** 給食センターでは和食中心のメニューを出しておりますが、子供たちも日頃、食べられないということがあろうかと思いますが、特に野菜の残菜率が高く魚も多い傾向です。
- 委員C** 今時の家庭の食生活を反映しているということですね。
- 各学校で給食等を盛り切る等の工夫や、配膳時の段取り、時間配分に気を付ける等の工夫がなされていることがわかりました。
- 委員長** 去年は20%、今年は10数%になっており、残菜の減少は、大きな成果であると思います。
- 一方、子供の人数の少ない学校と比較して、100人から200人規模の学校では、残菜を減らす取組みを徹底するのは難しい面がある。
- 八日市場小学校のような比較的大きなところは給食時のマナー教育に力を入れている。須賀小学校は大分、残菜を少なくしたようですが。
- 委員D** 須賀小学校は、給食委員会を通じて、残菜の一番少ないクラスを昼の校内放送で発表し、全校集会で表彰するといった取組みを行い、大いに盛り上がっています。
- 委員長** 産業振興課の会議でも話したが、年に何回か全校生徒にアンケートを実施しているが低学年は非常に正直に記入しており、学校生活が楽しい理由は給食がおいしいからとのことでした。
- 給食センターの調理、レシピによるものかなと思います。
- 教育長** 皆様に誤解のないよう申し上げますと、残菜を減らすために強制的に給食を食べさせているわけではありません。

アレルギー等の生徒に対しては十分に配慮しつつ、栄養士が栄養バランスを考えて献立を考えています。

決して残菜を出さないことだけに固執しているわけではありません。

**委員E** 先日、新聞で40代の女性教諭が生徒に給食を吐くまで食べさせたとの記事が載っていました。

**委員F** うちの子供は汁物を残します。まあ、野菜もですが。肉類はあまり残さないようだが、給食の残菜の品目別状況を教えてください。

**事務局** 昨年度の残菜の状況では、やはり、汁物、副菜が多くて、副菜23%、汁物が21%程度の状況となっており、やはり汁物を残す傾向にあります。

**委員長** 今年度の状況でいいますと小学生の部で副菜が16.7%、汁物が14.3%となっていますが、逆に保護者の方に伺いますが、御家庭では子供たちは汁物は苦手ですか。

**委員F** 汁物は、御味噌汁とかが苦手で、ミネストローネとかは飲むようです。

**委員F** コーンポタージュのような物も汁物と呼べるかは別として良く飲むようです。

**委員長** ミネストローネの話もそうだが、我々の世代では、コーンポタージュなどのメニューも、スペシャルな印象を受けます。

汁物とか、子供たちが学校給食で苦手な物の克服のための味付けの調整は、どうなっているのですか。

**事務局** 年齢層が小学校低学年から中学生まで幅が広いため、味付けの方は甘めの設定です。

**委員長** これを機に、レシピの内容を工夫して、汁物の残菜を減らす努力をお願いします。

**教育長** 私が現場にいる時は、リクエスト献立というのがあったが、今年度、平成29年度にそれに類するものは、何か工夫したイベントのようなものはありますか。

**事務局** リクエスト献立というものは特にありませんが、生徒の皆さんの考えた献立で優れたものを、年に1回、提供しています。

**委員G** 私たちが子供の頃は、給食の残菜は出なかったイメージがあり、クラスで、各生徒に同じ分だけ取り分けて配っていましたが、昔も残菜はあったのですか。昔は2回、3回お代わりした記憶があります。

アレルギーや栄養バランスの問題もあるが、給食の配分は現在、どのようになっていますか。

- 事務局** 給食センターから配食する分量については、標準的分量で、児童・生徒の、人数分を出しています。
- 食べる量は、お子さんによって個人差があると思いますので、配食で多少の調整はされていると思います。
- また、残菜率については、欠席者の分も含めて、給食センターに戻ったものの全部の重量を計量しておりますので、汁物などは数字が上がる要因かと思えます。
- 教育長** ここいる校長先生に、どのような残菜を減らす工夫をしているのか聞いた方がよいと思います。
- たくさん食べる生徒には配分を多く、あまり食べられない生徒には少なく盛るといった、その辺の工夫はあるんじゃないかと思っています。
- 委員H** 昔のように給食を均等に盛り付けると、生徒の好き嫌いとかがはっきり出て、食べない子は全然食べないので、結果的に残菜が多く出てしまいます。
- 委員B** 給食が始まったばかりの頃は、給食が珍しかったので、食缶に首を突っ込んで食べていたような雰囲気がありました。
- 今の子供はおいしい物を食べて恵まれているし、アレルギーの問題もあるので取り敢えず均等に盛り付けをして、もっと食べたい人は、お代わりして食べてもらうというのが基本的なスタイルだと思います。
- 委員I** 寒い時期だが、牛乳はどうなっていますか。
- 事務局** 牛乳は、業者が学校に配達し、業者が回収するので残菜率には入っておりません。学校訪問時に飲み方なども見ておりますが、正確な量は把握しておりません。
- 委員I** 私も毎日、何本牛乳が飲まれているかはわからないが、ミルメーク等は人気があるようなので。牛乳についてもいろいろ工夫して欲しいと思います。
- 事務局** ジョアや飲むヨーグルト等の甘い飲み物は、子供たちに好まれる傾向があるようです。ミルメークも提供しております。
- 委員長** 子供たちの食生活が豊かになっているので、それに打ち勝つには努力が必要だと思います。
- 給食センターから配送する食品1つ1つの残菜率を集計して、あまり残菜率が多いようであれば、その食品を減らすような努力はしているのですか。
- 事務局** その日の献立の残菜率を見ながら、献立作りに生かすようにしております。ご飯なども喫食状況により量を少し減らしたりしております。

そうしますと、その他の食品で栄養バランスを取らなければなりません、残菜の状況を見ながら量の調整をしています。

**委員長** その他、御質問等ありますでしょうか。

全員 「なし」

ない様ですので、以上を持ちまして議事を終了いたします。

委員の皆様ありがとうございました。

**事務局** 以上で閉会します。